

多様化するニーズに即応するミュージアムの可能性 I ～ミュージアム側の現状と課題、そして変革～

平成 20 年度以降に出された数ある施策等を背景に、ミュージアムに課せられている使命として「館種を超えたネットワークによる事業展開」があげられる。また、博物館利用者側はそれらの事業を利活用することで、自ら多様な学びや感動を構築することが期待されている。

これらの事例として、学会等で報告される数を見ても、「連携、コラボ」の名の下で、ミュージアムが諸団体とともに、様々な形態で事業展開している様子が読み取れる。

しかし、その事業の背景には数多くの問題や課題が山積しており、正に「多様化するニーズに即応するミュージアムの可能性」を体現することの難しさを示唆していると言えよう。

そこで、平成 28 年度の研究部会は、このテーマに則してミュージアムの課題と利用者側（連携側）の課題を洗い出し、さらなる可能性について議論する場とする。

❖ 日程：平成平成 28 年 12 月 17 日（土）13：00～16：30（12：30 開場）

❖ 会場：科学技術館 6 階第 1 会議室（東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号）

❖ プログラム：

13：00～13：15 研究部会趣旨説明

新和宏（コミュニケーション・マネジメント研究部会長、千葉県立中央博物館分館海の博物館長）

13：15～14：15 ケーススタディー（ゲストスピーカーによる実践事例）

「博物館が、今なぜフィールドミュージアム！」中村俊彦氏（元 千葉県立中央博物館副館長）

14：20～15：00 利用者側からのコメント、提案等

「博物館と市民はいかに響き合うか」

栗原裕治氏（NPO 法人 千葉まちづくりサポートセンター副代表兼事務局長）

15：00～15：10 コーヒーブレイク

15：10～16：30 パネルディスカッション

コーディネーター 新和宏

パネラー：上記ゲストスピーカー等

❖ お申込み先：日本ミュージアム・マネジメント学会事務局

〒135-0091 東京都港区台場 2-3-4 (株)乃村工藝社 文化環境事業本部内

電話・ファックス 03-3521-2932

メールアドレス kanri@jmma-net.org

または、下記ページの申込フォームよりお申込み下さい

<http://ssl.edlnc.net/research/>